

式典

68年の歴史に幕を閉じる



3月8日、高須中学校で閉校記念式典が行われました。
当日は生徒や教職員、同校の卒業生など約420人が参加。式典では閉校宣言の後、校長と生徒代表が校旗を教育長へ返納。全員で校歌を斉唱しました。
また式典後に記念碑の除幕や航空写真の撮影が行われたほか、「明日を語る会」では参加者は高須の未来や思い出話に花を咲かせていました。

卒業生にプレゼント

福岡市在住で串良町出身の三木シゲ子さんが、閉校となる高須中学校、浜田小学校、母校である上小原小学校の卒業生に、手作りの絵手紙・色紙・コサージュをプレゼントしました。



105年の歴史に幕を閉じる

3月15日、浜田小学校で閉校記念式典が行われました。
当日は児童や教職員、同校の卒業生など約360人が参加。



校長と児童代表が校旗を教育長へ返納した後、参加者全員で校歌を斉唱しました。
式典後には、「惜別の会」も行われ、参加者は学び舎との別れを惜しむとともに、浜田小学校最後の在校生の今後の活躍を願いました。

地域

子ども達の安全を願って



3月9日、「ゾーン30」供用開始式が寿小学校で行われました。
これは区域内の制限速度を時速30kmにするなどの生活道路対策を行い、子どもたちの安全を確保することを目的に行われたもので、市内では初めて寿小学校周辺の区域が指定されました。
中村鹿屋警察署長は「子ども達の命を守ることができれば」と話していました。

園児による防火パレード



3月5日、寿敬心保育園の幼年消防クラブによる防火パレードが行われました。
これは、春の全国火災予防運動の一環として、広く住民に防火思想の高揚を訴えるためにパレードを実施したもので、法被を着用した園児たちは消防署員や消防団員が見守る中、保育園から鹿屋警察署までの往復約1.5kmを「火の用心」と元気の声で呼びかけながら行進していました。

伝統的な方法で堰を作る



3月17日、串良町細山田の川原園井堰で、「柴の掛け替え」が行われました。
これは串良川を竹で縛った柴束とコモでふさぎ、早期水稲用の用水を確保するために用いられるもので、約100年前から続く伝統行事です。

石牟礼神社で春の例祭



3月8日、輝北町平房の石牟礼神社で春の例祭が開催され、上平房・中平房・下平房の各保存会による棒踊りが奉納されました。
当日は、踊り子たちが威勢のよい掛け声とともに棒を打ち鳴らしていました。

故郷を忘れないで



3月7日、8日に串良町の3中学校区で「串良人旅立ち式」が行われました。
これは高校を卒業して串良を離れてしまう前に、地元存在を支えにして新天地で頑張れるよう、地域住民が中心となって、祝い送り出してあげるものです。

思い出の歌で別れを告げる



3月12日、市内各地の中学校で卒業式が行われました。
高隈中学校の卒業式では生徒たちが、「私たちが帰る場所」を合唱。
この曲はアコースティックユニット「高鈴」とレコーディングし、プロモーション動画にも出演した曲で、母校に別れを告げる歌となりました。

動画はココ!!



寄贈

新入学児童の交通安全を願って



3月12日、県トラック協会鹿屋支部の関係者が市役所を訪れ、交通標識入りの定規1,050本を市内の各小学校に寄贈しました。
これは、交通事故防止に役立てて欲しいと、毎年県下全域の新1年生を対象に配布しているものです。

表敬

大隅の地域力の向上に貢献



3月9日、「平成26年度おおすみの地域力表彰」の表彰式が大隅地域振興局で行われました。受賞者は次のとおり。
○串良まちづくり戦略会議
○夢来研たかくま
○公益社団法人 鹿屋肝属法人会青年部会

河川海岸愛護運動の功績を表彰



3月24日、平成26年度河川海岸愛護運動の優良団体に対する知事表彰伝達式が市役所で行われ、河川部門は「始良川河川愛護会」、海岸部門は「県建設業協会鹿屋支部青年部」が表彰されました。

地域の学習活動への貢献を表彰



3月25日、第67回優良公民館表彰の伝達式が市役所で行われました。
これは地域住民の学習活動に貢献している公民館を文部科学大臣が表彰するもので、田崎地区学習センターが表彰されました。